

2012年度

# 事業報告

自 2012年4月 1日

至 2013年3月31日

東京都中央区京橋2-9-2 第一ぬ利彦ビル7階

公益財団法人 読売日本交響楽団

理事長 河田卓司

## 【概論】

2012年度は、読売日本交響楽団にとって、「創立 50 周年」と「公益財団法人移行」というふたつの大きな節目の年に当たり、例年にも増して意欲的な活動を繰り広げた。

50 周年関連では多彩な特別演奏会を通じて全国のファンに感謝を伝え、公益法人化に合わせて各種規定を見直してコンプライアンス体制の強化を図った。恒例のシリーズ公演も、ともに契約最終年となった常任指揮者のカンブルラン、正指揮者の下野竜也との息の合った演奏で高い評価を受け、10 万人に上る有料入場者を集めた。

創設以来、日本のトップオーケストラとして活動してきた読響の、半世紀に及ぶ歴史の集大成にふさわしい 1 年だったと総括できる。

## 【50 周年記念事業】

創立 50 周年記念事業として取り組んだ演奏会は計 15 公演に上った。

8 月には広島と長崎で、それぞれの原爆忌に合わせ「世界平和への祈り」と題した演奏会を開催。被爆 2 世や高校生をまじえた地元市民による合唱団を組織し、カンブルランの指揮でモーツァルトの「レクイエム」などを演奏した。曲間には朗読をはさみ、広島では地元出身の歌手・吉川晃司が原爆の犠牲になった中学生を悼む「碑（いしぶみ）」（薄田純一郎作）を、長崎では少女時代を長崎県内で過ごした女優・白石加代子が「長崎の鐘」（永井隆作）の抜粋を読み上げた。両演奏会は音楽雑誌や地元メディアに数多く取り上げられ、「一人ひとりの心と心が一つとなり、平和への願いを新たにした感動の舞台」「核廃絶を願い平和を祈る大きなエネルギーとなった」と高い評価を得た。

全国各地のファンに感謝の思いを届けようと、例年首都圏で開催して好評を博している「三大交響曲」と「三大協奏曲」を組み合わせた連続公演も、札幌から福岡までの 5 都市に会場を広げた。指揮に特別客演指揮者の小林研一郎と正指揮者の下野竜也を据え、ソリストに辻井伸行（ピアノ）、長谷川陽子（チェロ）ら実力派の人気奏者をそろえた 10 公演はいずれも満員の盛況で、読響の活動が全国の温かいファンに支えられていることを再認識した。

10 月 19 日には、当団名誉顧問の高円宮妃久子殿下をお迎えし、東京・港区のホテルオークラ東京で祝賀パーティーを開催。読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ放送の支援 3 社幹部や音楽関係者、各界の来賓ら約 420 人がお祝いに駆け付けた。過去の演奏活動の足跡を記事と写真、年表などで振り返る「創立 50 周年記念誌」も刊行。過去の名演を集めたダイジェスト版の CD 付きで、関係者に贈呈したほか、会員向け予約販売、会場での一般販売も行った。

## 【公益法人としての基盤整備】

公益財団法人への移行を4月1日付で果たした。社会的信用度が一層高まるとともに、「交響管弦楽の演奏」と「南葵音楽文庫コレクションの保存及び公開」が公益事業として認定された。公益財団に対する寄付に税法上の優遇措置が適用される利点を生かして、賛助会加入の呼び掛けも強め、新たに10口近い法人・個人が加わる事が決まっている。

コンプライアンスの面では、公益法人にふさわしい透明で厳格な組織運営を実現するため、事業計画・報告及び収支予算・決算のホームページ上での公開や、会計処理規定、個人情報保護規定、賛助会員規約などの整備を行った。また、創立以来となる就業規則の大幅改定と、無年金時代に備えたフルタイム勤務を含む新たなエルダー制度の構築も終えた。会員管理・チケット販売や練習所食堂の運営、給与計算事務のアウトソーシングを進め、業務の効率化と経費削減につなげた。

## 【充実の演奏活動】

定期演奏会など5つのシリーズ公演を柱とする自主公演は計69回、ホールや企業・団体から協賛金を得て行う依頼公演は計33回に上った。

常任指揮者のカンブルランは、契約1期目（3年間）の最終年に当たり、着実に増やしてきたファンの前で、持ち味の清新かつ色彩豊かな演奏を披露した。4回の来日のうち2回で自国フランスの作品を取り上げ、中でも新国立劇場合唱団を従えて10月に演奏したラヴェルのバレエ曲「マ・メール・ロワ」「ダフニスとクロエ」（ともに全曲版）は、「日本のオーケストラがこれほど光彩陸離たる演奏を聴かせた例は、決して多くないだろう」など、音楽ジャーナリズムがこぞって絶賛した。カンブルランは、常任契約の延長が決まり13年度から2期目に入る。

初の正指揮者として6年半にわたって読響を率いた下野竜也は3月末でその任を終えた。5月には07年から取り組んできたドヴォルザークの交響曲全9曲の完全演奏を、日本人として初めて成し遂げた。また、11月には日生劇場、東京二期会と共同主催した日本初演のオペラ「メデア」を指揮し、その優れた技量が芸術選奨文部科学大臣賞の受賞理由となった。13年度からは首席客演指揮者の立場で引き続き読響と共演する。

このほか、スクロヴァチェフスキ、アルブレヒト、フリーベック・デ・ブルゴス、尾高忠明ら、歴代の常任指揮者が続々と登場、ソリストにも当代随一のクラリネット奏者ストルツマン、ベルリン・フィルの首席ヴィオラ奏者清水

直子、ピアノの小山実稚恵、辻井伸行ら、人気と実力を兼ね備えた顔ぶれをそろえた。

契約終了に伴って退団するコンサートマスターの後任選びも進め、ウィーン・フィルでコンマスを務めたダニエル・ゲーデと、ベルリン・コンツェルトハウスの現役コンマス日下紗矢子の13年度からの就任が決まった。

## 【営業強化の取り組み】

自主公演の有料入場者数は5シリーズの会員（計約6200人）を含めて計9万9000人を超え、前年度より約9000人増えた。ホール総座席数に占める割合は76%となり、1年間を通じてほぼ8割の客席が有料入場者で埋まった勘定になる。

05年度以来、横浜・みなとみらいホールを会場に開催してきたホリデー名曲シリーズは、固定ファンを獲得できたと判断。従来の上・下の半期会員に加えて年間を通じた会員枠を新設し、前年度の半期会員（上期1378人、下期1119人）のうち900人を年間会員に移行させることに成功した。

## 【社会貢献】

新聞・テレビを母体とするオーケストラとして社会貢献には従前から意を注いできたところだが、公益法人になったことでその使命はさらに重みを増した。

東日本大震災の被災地を訪ねる復興支援特別公演「きぼうの音楽会」は、昨年の福島県いわき市に続いて3月6日に宮城県名取市で開催した。指揮者にかつて仙台フィルで常任を務めた梅田俊明、ピアノに仙台市出身の小山実稚恵を迎え、無料招待した仮設住宅居住者200人を含む1100人の聴衆の前で、「ピアノ協奏曲」「交響曲第7番」などのオールベートーベンプログラムを演奏した。

地域の要望を受けて、日頃大ホールに足を運ぶ機会の少ない人たちにクラシックを届ける「サロン・コンサート」は、北は秋田県横手市から南は奈良市まで、計41回実施した。各地からの開催要望が多く、年々回数が増加している。公募で選んだ小中学校を訪問する「フレンドシップ・コンサート」も3年目を迎えて定着し、首都圏で10回開催した。「サロン」「フレンドシップ」は、ともにエルダー（OB）楽員によるアンサンブル演奏を基本としており、再雇用制度の確立でさらに幅広い展開が期待できる。また、公益財団法人「正力厚生会」のがん患者助成事業に協力する「ハートフル・コンサート」は岩手、福島、石川、京都、宮崎など8府県の医療機関で開催した。

アマチュアの音楽活動支援にも12年度から乗り出した。東邦音大が主催する「中学生・高校生のための管弦打楽器ソロ・コンテスト」を文部科学省などと並んで後援し、「読響賞」を提供したほか、全国94校が加盟する全日本高校オ

オーケストラ連盟主催の「全国高校オーケストラフェスタ」に講師を派遣。クラシックファンの底辺拡大と、読響のブランドイメージアップに取り組んだ。

## 【南葵音楽文庫の活用】

1977年に寄贈を受けて以来、保管を続けてきた「南葵音楽文庫コレクション」に関連する業務は、その保存・公開が公益目的事業に認定されたのを受け、大きく前進した。

まず、重要資料を広く世の中に公開し、後世に残していくために、デジタルデータ化して後世に残していく作業を、一般社団法人芸術資源マネジメント研究所に委託して実施した。約 900 点の貴重資料のうち、特に重要と思われるヘンデルやベートーベンなど大作曲家の手稿資料約 90 点について、国際標準に準拠した方法で、高精細のデジタル画像に残していくもので、3 か年の継続事業となる。初年度は 8 月と 3 月に集中的にデジタル収録作業を行い、慶応義塾大学が 06 年から 07 年にかけて文部科学省の助成を得て行った作業と合わせ、全体の 70% のデジタル化を終えた。

1 月には総数約 2 万点を超える膨大な資料について、今日的価値を確定するための評価委員会を開催した。有識者 4 人に委員を委嘱し、類似資料の存否などに基づいて検討を加えた結果、世界に 1 点しかない資料や自筆の書き込みが施された資料などが含まれ、学術的に極めて高い価値を持つことが再確認された。

## 【2012年度実績報告書】

〈自主公演〉 定期演奏会				11 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.16	514	サントリーホール	S. カンブルラン	-
5.15	515	〃	下 野 竜 也	三 浦 文 彰
6.14	516	〃	G. アルブレヒト	-
7.12	517	〃	広 上 淳 一	清 水 直 子
9.24	518	〃	S. スクロヴァチェフスキ	R. ストルツマン
10.27	519	〃	S. カンブルラン	大 久 保 光 哉 他
11.29	520	〃	R. F. デ.ブルゴス	新国立劇場合唱団
12.14	521	〃	尾 高 忠 明	-
1.21	522	〃	L. セゲルスタム	菊 池 洋 子
2.18	523	〃	下 野 竜 也	-
3.19	524	〃	S. カンブルラン	-
〈自主公演〉 名曲シリーズ				11 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.21	548	サントリーホール	S. カンブルラン	須 川 展 也
5.10	549	〃	下 野 竜 也	クリストフ・バラージェティ
6.13	550	〃	G. アルブレヒト	-
7.23	551	〃	P. カリニャーニ	南 紫 音
9.23	552	〃	S. スクロヴァチェフスキ	R. ストルツマン
10.18	553	〃	S. カンブルラン	新国立劇場合唱団
11.24	554	〃	R. F. デ.ブルゴス	-
12.19	555	〃	S. カンブルラン	木下美穂子 他
1.9	556	〃	大 野 和 士	小 山 実 稚 恵
2.12	557	〃	R. ホーネック	-
3.18	558	〃	S. カンブルラン	-
〈自主公演〉 東京オペラシティ/東京芸術劇場名曲シリーズ				11 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.13	193	東京オペラシティ	S. カンブルラン	松 山 冴 花
5.9	194	〃	下 野 竜 也	クリストフ・バラージェティ
6.7	195	〃	大 友 直 人	郷 古 廉 他
7.11	196	〃	広 上 淳 一	清 水 直 子
9.28	197	〃	S. スクロヴァチェフスキ	-
10.20	198	東京芸術劇場	S. カンブルラン	新国立劇場合唱団
11.25	199	〃	R. F. デ.ブルゴス	-
12.22	200	〃	S. カンブルラン	木下美穂子 他
1.8	201	〃	大 野 和 士	小 山 実 稚 恵
2.20	202	〃	下 野 竜 也	-
3.24	203	〃	S. カンブルラン	-
〈自主公演〉 東京オペラシティ/東京芸術劇場マチネーシリーズ				11 回
月・日	回数	会 場	指 揮 者	共 演 者
4.14	143	東京オペラシティ	S. カンブルラン	松 山 冴 花
5.19	144	〃	篠 崎 靖 男	A. ロマノフスキー
6.23	145	〃	下 野 竜 也	宮 本 益 光 他
7.21	146	〃	P. カリニャーニ	南 紫 音
9.30	147	〃	S. スクロヴァチェフスキ	-
10.13	148	東京芸術劇場	小 林 研 一 郎	米 元 響 子
12.1	149	〃	R. F. デ.ブルゴス	新国立劇場合唱団
12.23	150	〃	S. カンブルラン	木下美穂子 他
1.26	151	〃	L. セゲルスタム	-
3.16	153	〃	S. カンブルラン	-

〈自主公演〉 みなとみらいホリデー名曲シリーズ 8 回			
月・日	会場名	指揮者	共演者
4.22	横浜みなとみらいホール	S. カンブルラン	須川 展也
6.24	〃	下野 竜也	宮本 益光 他
8.18	〃	小林 研一郎	—
9.29	〃	S. スクロヴァチェフスキ	—
10.14	〃	小林 研一郎	米元 響子
12.24	〃	S. カンブルラン	木下美穂子 他
1.27	〃	L. セゲルスタム	—
2.11	〃	R. ホーネック	—

〈自主公演〉 特別演奏会／都区内特別 1 回			
月・日	会場名	指揮者	共演者
7.1	東京オペラシティ	下野 竜也	—

〈自主公演〉 特別演奏会／地方特別 12 回			
月・日	会場	指揮者	共演者
4.27	愛知県芸術劇場	小林 研一郎	瀬崎 明日香 他
4.28	愛知県芸術劇場	小林 研一郎	—
5.24	アクロス福岡	小林 研一郎	岡崎 慶輔 他
5.25	アクロス福岡	小林 研一郎	—
6.28	ザ・シンフォニーホール	下野 竜也	川久保 賜紀 他
6.29	ザ・シンフォニーホール	下野 竜也	—
8.6	広島県立芸術文化ホール	S. カンブルラン	森 麻季 他
8.9	長崎ブリックホール	S. カンブルラン	森 麻季 他
11.19	ザ・シンフォニーホール	円光 寺雅彦	日下 紗矢子
12.6	札幌コンサートホールKITARA	下野 竜也	成田 達輝 他
12.7	札幌コンサートホールKITARA	下野 竜也	—
3.6	名取市文化会館	梅田 俊明	小山 実稚恵

〈自主公演〉 特別演奏会／サマーフェスティバル 2 回			
月・日	会場名	指揮者	共演者
8.16	サントリーホール	小林 研一郎	—
8.21	〃	小林 研一郎	佐藤 俊介 他

〈自主公演〉 特別演奏会／第九公演 2 回			
月・日	会場名	指揮者	共演者
12.21	サントリーホール	S. カンブルラン	木下美穂子 他
12.26	東京オペラシティ	〃	〃

〈依頼公演〉 東京都区内公演					28回	
月・日	公演名	主催者	会場名	指揮者	共演者	
4.5	神宮式年遷宮奉祝演奏会	神 社 本 庁	サントリーホール	円 光 寺 雅 彦	市 原 愛	
5.3	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン	梶 本 音 楽 事 務 所	東京国際フォーラム	下 野 竜 也	—	
5.4	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン①	梶 本 音 楽 事 務 所	東京国際フォーラム	下 野 竜 也	—	
5.4	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン②	梶 本 音 楽 事 務 所	東京国際フォーラム	下 野 竜 也	—	
6.2	オリンパスホール八王子 開館1周年記念公演	八王子市学園都市文化ふれあい財団	オリンパスホール八王子	西 本 智 実	法 村 圭 緒 他	
6.17	ア プ リ コ 公 演	大田区文化振興協会	大田区民ホール アプリコ	現 田 茂 夫	日 比 野 幸 他	
7.16	シネマ・ミーツ・シンフォニー①	読売新聞東京本社(事業局)	文京シビック	円 光 寺 雅 彦	—	
7.16	シネマ・ミーツ・シンフォニー②	読売新聞東京本社(事業局)	文京シビック	円 光 寺 雅 彦	—	
8.25	第48回日伊音楽コンクール入賞者特別披露演奏会	読売新聞東京本社(事業局)	サントリーホール	現 田 茂 夫	清 水 華 澄 他	
9.1	東京芸劇リニューアル記念公演	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	下 野 竜 也	小 川 里 美 他	
9.13	歌劇〈パルジファル〉	二 期 会	東京文化会館	飯 守 泰 次 郎	二期会合唱団他	
9.15	歌劇〈パルジファル〉	二 期 会	東京文化会館	飯 守 泰 次 郎	二期会合唱団他	
9.16	歌劇〈パルジファル〉	二 期 会	東京文化会館	飯 守 泰 次 郎	二期会合唱団他	
9.17	歌劇〈パルジファル〉	二 期 会	東京文化会館	飯 守 泰 次 郎	二期会合唱団他	
10.6	東京芸劇リニューアル記念公演	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー	ヴィクトリア・ポストニコワ	
10.7	東京芸劇リニューアル記念公演	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー	—	
10.8	東京芸劇リニューアル記念公演	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー	サーシャ・ロジェストヴェンスキー	
11.9	ニッセイオペラ〈メデア〉	ニッセイ文化振興財団	日生劇場	下 野 竜 也	飯 田 み ち 代 他	
11.10	ニッセイオペラ〈メデア〉	ニッセイ文化振興財団	日生劇場	下 野 竜 也	飯 田 み ち 代 他	
11.11	ニッセイオペラ〈メデア〉	ニッセイ文化振興財団	日生劇場	下 野 竜 也	飯 田 み ち 代 他	
11.14	シネマ・ミーツ・シンフォニー	読売新聞東京本社(事業局)	オーチャードホール	梅 田 俊 明	ポ ー ル ・ ポ ッ ツ	
11.15	シネマ・ミーツ・シンフォニー	読売新聞東京本社(事業局)	オーチャードホール	梅 田 俊 明	ポ ー ル ・ ポ ッ ツ	
1.15	都民芸術フェスティバル	日本演奏連盟	東京芸術劇場	外 山 雄 三	小 川 典 子	
2.1	ミュージカル・ミーツ・シンフォニー①	読売新聞東京本社(事業局)	サントリーホール	円 光 寺 雅 彦	石 丸 幹 二 他	
2.1	ミュージカル・ミーツ・シンフォニー②	読売新聞東京本社(事業局)	サントリーホール	円 光 寺 雅 彦	石 丸 幹 二 他	
3.1	民音指揮者コンクール演奏会	民 主 音 楽 協 会	東京オペラシティ	石 崎 真 弥 奈	—	
3.27	芸劇・親子コンサート	東京都歴史文化財団	東京芸術劇場	梅 田 俊 明	森 美 代 子 他	
3.30	江戸川特別公演	江戸川区総合文化センター	江戸川区総合文化センター	沼 尻 竜 典	小 山 実 稚 恵	

〈依頼公演〉 地方公演					3回	
月・日	公演名	主催者	会場名	指揮者	共演者	
7.29	フェスタサマーミュージザ	川崎市文化振興財団	昭和音楽大学・テアトロ・ジューリオ	梅 田 俊 明	松 田 理 奈	
1.14	つくば公演	つくばコンサート実行委員会	つくばノバホール	外 山 雄 三	小 川 典 子	
3.10	栃木・三大協奏曲	とちぎ未来づくり財団	栃木県総合文化センター	現 田 茂 夫	松 山 冴 花 他	

〈依頼公演〉 テレビ出演					2回	
月・日	会 場	指 揮 者		共 演 者		
5.30	東京オペラシティ	久 石 譲		—		
7.5	東京オペラシティ	藤 岡 幸 夫		日 下 紗 矢 子		

自主公演 69回  
 依頼公演 33回  
 合計 102回



放送録画／同時録音画			8 回
月・日	放送局名	内容	会 場
4.16	日 本 テ レ ビ 放 送 網	同時録音画	サ ン ト リ ー ホ ー ル
6.28	読 売 テ レ ビ 放 送 網	同時録音画	ザ・シンフォニーホール
8.9	日 本 テ レ ビ 放 送 網	同時録音画	長 崎 ブ リ ッ ク ホ ー ル
9.23	日 本 テ レ ビ 放 送 網	同時録音画	サ ン ト リ ー ホ ー ル
10.6	日 本 テ レ ビ 放 送 網	同時録音画	東 京 芸 術 劇 場
11.29	日 本 テ レ ビ 放 送 網	同時録音画	サ ン ト リ ー ホ ー ル
12.21	日 本 テ レ ビ 放 送 網	同時録音画	サ ン ト リ ー ホ ー ル
1.21	日 本 テ レ ビ 放 送 網	同時録音画	サ ン ト リ ー ホ ー ル
2.18	日 本 テ レ ビ 放 送 網	同時録音画	サ ン ト リ ー ホ ー ル

(アンサンブル)サロン・コンサート		41 回
月・日	公演名	会場名
4.14	サロン・コンサート in谷田部(茨城)	黒 澤 新 聞 舗
4.20	サロン・コンサート in旭(千葉)	千 葉 県 東 総 文 化 会 館
4.21	サロン・コンサート in銚子(千葉)	銚 子 よ み う り ホ ー ル
4.28	サロン・コンサート in関内(神奈川)	関 内 ホ ー ル
5.13	サロン・コンサート in館林(群馬)	館 林 市 文 化 会 館
5.18	サロン・コンサート in行徳(千葉)	行 徳 文 化 ホ ー ル
5.19	サロン・コンサート in深谷(埼玉)	深 谷 市 民 文 化 会 館 大 ホ ー ル
6.17	サロン・コンサート in高崎(群馬)	高 崎 市 文 化 会 館 大 ホ ー ル
6.22	サロン・コンサート in日野(東京)	ひ の 煉 瓦 ホ ー ル
6.24	サロン・コンサート in新河岸(埼玉)	川 越 南 文 化 会 館 ジ ョ イ フ ル
7.14	サロン・コンサート in北工場(東京)	東 京 北 工 場 2F 大 会 議 室
7.23	サロン・コンサート in与野本町(埼玉)	さ い た ま 芸 術 劇 場 音 楽 ホ ー ル
7.28	サロン・コンサート in魚津(富山)	新 川 文 化 ホ ー ル
7.29	サロン・コンサート in七尾(石川)	七 尾 市 サ ン ラ イ フ プ ラ ザ 大 ホ ー ル
8.2	サロン・コンサート in上田(長野)	信 州 国 際 音 楽 村 ホ ー ル こ だ ま
8.21	サロン・コンサート in下丸子(東京)	大 田 区 民 プ ラ ザ 大 ホ ー ル
8.22	サロン・コンサート in相模原(神奈川)	相 模 原 南 市 民 ホ ー ル
8.24	サロン・コンサート in府中(東京)	府 中 の 森 芸 術 劇 場 ウ ィ ー ン ホ ー ル
9.1	サロン・コンサート in横手(秋田)	秋 田 ふ る さ と 村 ド ー ム 劇 場
9.16	サロン・コンサート in入間(埼玉)	入 間 市 産 業 文 化 セ ン タ ー
9.21	サロン・コンサート in会津若松(福島)	会 津 若 松 市 文 化 セ ン タ ー
10.12	サロン・コンサート in瑞江(東京)	東 部 フ レ ン ド ホ ー ル
10.13	サロン・コンサート in習志野(千葉)	習 志 野 文 化 ホ ー ル
10.25	サロン・コンサート in朝霞(埼玉)	朝 霞 市 民 会 館 大 ホ ー ル
10.27	サロン・コンサート in都岡(神奈川)	横 浜 市 立 都 岡 中 学 校 体 育 館
11.16	サロン・コンサート in奈良(奈良)	奈 良 県 文 化 会 館
11.17	サロン・コンサート in神戸(兵庫)	生 活 文 化 セ ン タ ー ホ ー ル
11.25	サロン・コンサート in清水(静岡)	静 岡 市 清 水 文 化 会 館 マ リ ナ ー ト
12.7	サロン・コンサート in習志野(千葉)	習 志 野 文 化 ホ ー ル
12.25	サロン・コンサート in宮原(埼玉)	プ ラ ザ ノ ー ス ・ ホ ー ル
12.26	サロン・コンサート in瑞穂(東京)	瑞 穂 ビ ュ ー パ ー ク ・ ス カ イ ホ ー ル 小 ホ ー ル
1.10	サロン・コンサート in関内(神奈川)	関 内 ホ ー ル
1.19	サロン・コンサート in柏(千葉)	柏 市 民 文 化 会 館
1.25	サロン・コンサート in大泉学園(東京)	大 泉 学 園 ゆ め り あ ホ ー ル
2.10	サロン・コンサート in行田(埼玉)	行 田 市 教 育 文 化 セ ン タ ー 「 み ら い 」 文 化 ホ ー ル
2.14	サロン・コンサート in亀有(東京)	亀 有 リ リ オ ホ ー ル
2.15	サロン・コンサート in東久留米(東京)	ま ろ に え ホ ー ル
2.16	サロン・コンサート in大泉(群馬)	大 泉 町 文 化 む ら 大 ホ ー ル
3.14	サロン・コンサート in八王子(東京)	い ち ょ う ホ ー ル
3.16	サロン・コンサート in岡崎(愛知)	岡 崎 市 竜 美 丘 会 館
3.20	サロン・コンサート in名古屋(愛知)	名 古 屋 市 公 会 堂

(アンサンブル)フレンドシップ・コンサート		10 回
月・日	公演名	会場名
5.28	フレンドシップ・コンサート①(川崎市立宮前小)	川崎市立宮前小学校
5.31	フレンドシップ・コンサート②(小金井市立緑小)	小金井市立緑小学校
6.19	フレンドシップ・コンサート③(足立区立五反野小)	足立区立五反野小学校
6.29	フレンドシップ・コンサート④(町田市立小山中)	町田市立小山中学校
9.28	フレンドシップ・コンサート⑤(江戸川区立大杉東小)	江戸川区立大杉東小学校
10.31	フレンドシップ・コンサート⑥(稲城市立第四中)	稲城市立iプラザホール
11.22	フレンドシップ・コンサート⑦(町田市立相原小)	町田市立相原小学校
12.14	フレンドシップ・コンサート⑧(清瀬市立第二中)	清瀬けやきホール
1.16	フレンドシップ・コンサート⑨(江戸川区立下小岩小)	江戸川区立下小岩小学校
3.12	フレンドシップ・コンサート⑩(市川市立市川小)	市川市立市川小学校

(アンサンブル)読響ハートフル・コンサート		8 回
月・日	公演名	会場名
5.11	読響ハートフル・コンサート 神奈川	神奈川県立がんセンター
6.8	読響ハートフル・コンサート 福島	福島県立医科大学附属病院
7.24	読響ハートフル・コンサート 石川	石川県立中央病院
9.18	読響ハートフル・コンサート 宮古	岩手県立宮古病院
10.5	読響ハートフル・コンサート 静岡	静岡県立総合病院
11.21	読響ハートフル・コンサート 京都	京都大学医学部附属病院
1.16	読響ハートフル・コンサート 奈良	奈良県立奈良病院
2.21	読響ハートフル・コンサート 宮崎	宮崎大学医学部附属病院

## 2012年度事業計画／実施対比表

(公財)読売日本交響楽団

事業内容	実施	計画	増減(▲)	参考 2011年度
サロン・コンサート	41	36	5	39
ハートフル・コンサート	10	10	0	11
フレンドシップ・コンサート	8	8	0	6
合計	59	54	5	56